

令和元年 8月12日

松阪市議会

議長 大平 勇様

報告 公明党

松岡恒雄

行政視察報告書

標記の件について、下記のとおり行政視察を行いましたので、その内容等を報告します。

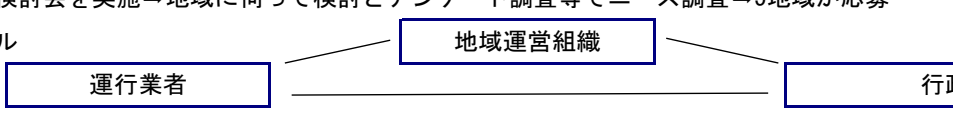
記

1. 視察の日程 令和元年7月29日(月)～7月30日(火)
2. 視察先 島根県浜田市 山口県山口市
3. 会派名 公明党
4. 参加議員 代表 西村 友志、松岡 恒雄
5. 報告書作成 松岡 恒雄
6. 視察項目
 - I. 島根県浜田市 7月29日(月)
 - 1) 議会改革について
 - II. 山口県山口市 7月30日(火)
 - 1) 地域住民主体で運行しているコミュニティタクシーについて

行政視察報告書		報告日	令和元年8月12日																																							
		会派名	公明党																																							
		報告者	松岡 恒雄																																							
概要	日程	令和元年7月29日（月）15時00分～16時30分		視察先	島根県 浜田市																																					
	視察事項	議会改革について																																								
	担当部署	浜田市議会 議会事務局 議会改革調査検討特別委員会																																								
	視察目的	松阪市議会基本条例が制定され本年10月で7年が経過する。議会改革の推進について終わりは無く、「駅鈴」で結ばれ交流の輪を広げている「浜田市」さんを訪問し議会改革の現状を学び、参考とする為。																																								
内容	視察要旨	<p>1. 浜田市議会の概要（平成31年4月1日現在）</p> <p>(1) 議員数⇒条例定数24名 現議員数24名 ※H25年改選後より24名、任期はR3年10月22日まで。</p> <p>(2) 議員年齢別構成 ※最年少 39歳 最年長 73歳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人数</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>平均年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>61.2歳</td> </tr> <tr> <td>比率（％）</td> <td>4.2%</td> <td>8.3%</td> <td>16.7%</td> <td>66.7%</td> <td>4.2%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 定例会における議員定数に対する一般質問の通告者の比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定例会日程</th> <th>定数</th> <th>通告者数</th> <th>比率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年 9月定例会</td> <td>24人</td> <td>22人</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>平成30年12月定例会</td> <td>24人</td> <td>21人</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>平成31年 3月定例会</td> <td>24人</td> <td>23人</td> <td>95.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 議会の活性化・議会改革の取り組み経緯等</p> <p>(1) H18年10月⇒ホームページにおける広聴機能として、「議長なんでもメール」を開設し、気軽に意見等を議長にメール送信できるよう改善し、すべて返信を行っている。</p> <p>(2) H18年12月⇒より分かりやすく質疑と答弁の正確度を高めるため対面式「一問一答方式」を導入。</p> <p>(3) H23年 9月⇒「議会基本条例」を制定した。</p> <p>(4) H25年 3月⇒「災害発生時の対応要領」（浜田市議会災害対策支援本部の設置について等）を策定。</p> <p>(5) H25年11月⇒「予算決算委員会」「議会広報広聴委員会」を常任委員会化した。</p> <p>(6) H28年 7月⇒本会議の個人一般質問についてインターネット上での「動画配信」を開始した。</p> <p>(7) H30年 2月⇒本会議の個人一般質問以外及び全員協議室で行う委員会の「動画配信」を開始した。</p> <p>(8) H30年 8月⇒「タブレット端末を議員全員に配布」、ペーパーレス会議システムを導入し、試験的に活用のおち、H31年3月定例会より本格実施。※議会棟フロアーにWi-Fi設置</p> <p>(9) H30年 9月⇒「議会は、障がいのある議員及び妊娠中又は出産後の議員に対し、本人の意思を尊重し、円滑な議会活動のための合理的配慮をしなければならない。」を明記。また、議員からの質問等又は議員若しくは委員会による条例の提案、議案の修正案等に対して、疑義等があるときは、「これらに反問し、又は反論する」ことができる。さらに、「議長は、議会事務局の職員の配置に関し、あらかじめ市長と協議するものとする。」「あらかじめその日程、議題等を周知するとともに、障がいの有無にかかわらず市民が傍聴しやすい環境の整備、インターネット等による配信に努めるものとする。」を明記した。</p> <p>(10) H31年 4月⇒政務活動費の交付方法を「後払い（清算払い）」とした。</p> <p>(11) H31年 4月⇒地方自治法第102条の2の規定による「通年会期制」を導入した。</p>				人数	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均年齢	24	1	2	4	16	1	61.2歳	比率（％）	4.2%	8.3%	16.7%	66.7%	4.2%		定例会日程	定数	通告者数	比率（％）	平成30年 9月定例会	24人	22人	91.7%	平成30年12月定例会	24人	21人	87.5%	平成31年 3月定例会	24人	23人	95.8%
		人数	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均年齢																																		
24	1	2	4	16	1	61.2歳																																				
比率（％）	4.2%	8.3%	16.7%	66.7%	4.2%																																					
定例会日程	定数	通告者数	比率（％）																																							
平成30年 9月定例会	24人	22人	91.7%																																							
平成30年12月定例会	24人	21人	87.5%																																							
平成31年 3月定例会	24人	23人	95.8%																																							
観光資源	①伝統芸能石見神楽②2019年浜田開府400年祭③石見畳ヶ浦④浜田港四季の魚（ノドクロ）⑤石州半紙																																									
	所感	<p>松坂城第二代藩主である「古田重治」公が浜田に転封され初代の浜田藩主となったこと、国学者「本居宣長」が第十二代藩主「松平康定」公から返礼をうけた「駅鈴」が松阪のシンボルとなっており現在でも交流の輪が広がっている。議会改革についても一般質問の通告者の割合について85%を超えていることや障がいのある議員及び妊娠中又は出産後の議員に対し、本人の意思を尊重し、円滑な議会活動のための配慮をしていること等、松阪市議会としても早期に取り組む必要があると感じた。</p>																																								

行政視察報告書	報告日	令和元年8月12日
	会派名	公明党
	報告者	松岡 恒雄

概要	日程	令和元年7月30日（火）10時30分～12時00分	視察先	山口県 山口市
	視察事項	地域住民主体で運行しているコミュニティタクシーについて		
	担当部署	山口市 都市整備部交通政策課		
	視察目的	松阪市の地域公共交通の現状では、利用できない地域があったり、一部で利用者が減ったり、交通弱者の移動手段としてのニーズが高くなっている。山口市の取り組みを学び、今後の松阪市の参考とする為。		

内容	視察要旨	<p>1. 山口市の概要</p> <p>(1) H17年10月⇒1市4町合併（山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町） H22年1月⇒阿東町を編入。</p> <p>(2) 面積⇒1,023.23km² 人口⇒197,422人 高齢化率⇒27.0% 多核分散型都市構造⇒重層的コンパクトシティ</p> <p>2. 山口市市民交通計画</p> <p>(1) 基本理念⇒～子や孫の代まで続く公共交通にしよう～創ろう！守ろう！みんなの公共交通</p> <p>(2) 取組姿勢⇒みんなが協働して創り育てる。</p> <p>(3) 公共交通体系の整備方針⇒基幹交通とコミュニティ交通を整え、連携強化、市民の連続的な移動を確保。</p> <p>(4) 地域勉強会の開催回数⇒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td> </tr> <tr> <td>52回</td><td>52回</td><td>48回</td><td>34回</td><td>47回</td> </tr> </table> <p>3. コミュニティタクシーの導入</p> <p>(1) H19年5月⇒コミュニティタクシーモデル地域募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11地域で検討会を実施⇒地域に伺って検討とアンケート調査等でニーズ調査⇒5地域が応募 ・運行モデル <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <pre> graph TD A[地域運営組織] --- B[運行業者] A --- C[行政] </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の移動手段は、地域事情を一番ご存知である地域が主体となり、交通事業者や行政とともに、みんなが協働して創り育てる。 <p>(2) H30年度実績</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>地域名</th><th>小鯖</th><th>宮野</th><th>嘉川</th><th>小郡</th><th>秋穂</th><th>佐山</th><th>阿知須</th><th>藤木</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用車両</td><td>小型</td><td>ジャンボ</td><td>小型</td><td>ジャンボ</td><td rowspan="3">H27.8月末 運行終了</td><td>小型</td><td>小型</td><td>ジャンボ・小型</td></tr> <tr> <td>1便あたりの乗車人数</td><td>2.1人</td><td>1.8人</td><td>1.5人</td><td>6.6人</td><td>1.8人</td><td>2.3人</td><td>1.5人</td></tr> <tr> <td>1月あたり</td><td>49人</td><td>132人</td><td>185人</td><td>1,349人</td><td>212人</td><td>654人</td><td>206人</td></tr> <tr> <td>乗車率</td><td>51.3%</td><td>20.3%</td><td>38.4%</td><td>73.0%</td><td>44.0%</td><td>57.4%</td><td>30.7%</td></tr> <tr> <td>収支率</td><td>20.2%</td><td>14.3%</td><td>26.9%</td><td>39.5%</td><td>38.6%</td><td>33.4%</td><td>21.9%</td></tr> </tbody> </table> <p>4. グループタクシーの導入</p> <p>(1) グループタクシーのメリット⇒①安心感 ②お出かけ ③信頼と安定</p> <p>(2) グループタクシーの利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th><th>H26年</th><th>H27年</th><th>H28年</th><th>H29年</th><th>H30年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請者数</td><td>882人</td><td>918人</td><td>996人</td><td>1,098人</td><td>1,166人</td></tr> <tr> <td>1ヶ月当たりの利用枚数</td><td>791枚</td><td>778枚</td><td>922枚</td><td>1,028枚</td><td>1,026枚</td></tr> <tr> <td>利用促進事業費</td><td>4,460(千円)</td><td>4,305(千円)</td><td>5,142(千円)</td><td>5,500(千円)</td><td>5,546(千円)</td></tr> </tbody> </table> <p>5. 山口市地域公共交通網形成計画⇒「育て支えよう！みんなの公共交通」⇒H30年3月策定した。</p>									H26	H27	H28	H29	H30	52回	52回	48回	34回	47回	地域名	小鯖	宮野	嘉川	小郡	秋穂	佐山	阿知須	藤木	使用車両	小型	ジャンボ	小型	ジャンボ	H27.8月末 運行終了	小型	小型	ジャンボ・小型	1便あたりの乗車人数	2.1人	1.8人	1.5人	6.6人	1.8人	2.3人	1.5人	1月あたり	49人	132人	185人	1,349人	212人	654人	206人	乗車率	51.3%	20.3%	38.4%	73.0%	44.0%	57.4%	30.7%	収支率	20.2%	14.3%	26.9%	39.5%	38.6%	33.4%	21.9%		H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	申請者数	882人	918人	996人	1,098人	1,166人	1ヶ月当たりの利用枚数	791枚	778枚	922枚	1,028枚	1,026枚	利用促進事業費	4,460(千円)	4,305(千円)	5,142(千円)	5,500(千円)	5,546(千円)
		H26	H27	H28	H29	H30																																																																																								
		52回	52回	48回	34回	47回																																																																																								
		地域名	小鯖	宮野	嘉川	小郡	秋穂	佐山	阿知須	藤木																																																																																				
		使用車両	小型	ジャンボ	小型	ジャンボ	H27.8月末 運行終了	小型	小型	ジャンボ・小型																																																																																				
		1便あたりの乗車人数	2.1人	1.8人	1.5人	6.6人		1.8人	2.3人	1.5人																																																																																				
		1月あたり	49人	132人	185人	1,349人		212人	654人	206人																																																																																				
		乗車率	51.3%	20.3%	38.4%	73.0%	44.0%	57.4%	30.7%																																																																																					
		収支率	20.2%	14.3%	26.9%	39.5%	38.6%	33.4%	21.9%																																																																																					
			H26年	H27年	H28年	H29年	H30年																																																																																							
申請者数	882人	918人	996人	1,098人	1,166人																																																																																									
1ヶ月当たりの利用枚数	791枚	778枚	922枚	1,028枚	1,026枚																																																																																									
利用促進事業費	4,460(千円)	4,305(千円)	5,142(千円)	5,500(千円)	5,546(千円)																																																																																									
観光資源	①明治維新の策源地②国宝瑠璃光寺五重塔③山口ゆらめき回廊（香山公園）④湯田温泉⑤SL「やまぐち」号																																																																																													
所感	10年後の将来像を描き、近づくための基本となる松阪市総合計画の基本計画「快適な生活」生活基盤の整備 ③地域公共交通の充実の10年後のめざす姿として公共交通利用可能地域100%を謳っている。目標を達成する為、地域をきめ細かくカバーし中心部や基幹交通に接続するコミュニティタクシー等について、地域が主体となり地域にあった移動手段の整備が不可欠となる。虹が丘地区での新しい仕組みもスタートしたばかりですが、山口市の取り組み等を参考とし、松阪市として早期の取り組みが必要であると強く感じた。																																																																																													

【視察第1日目 浜田市全員協議会室にて】

【令和元年 8月12日提出】



【視察第2日目 山口市委員会室にて】



【視察第2日目 山口市委員会室にて】

